

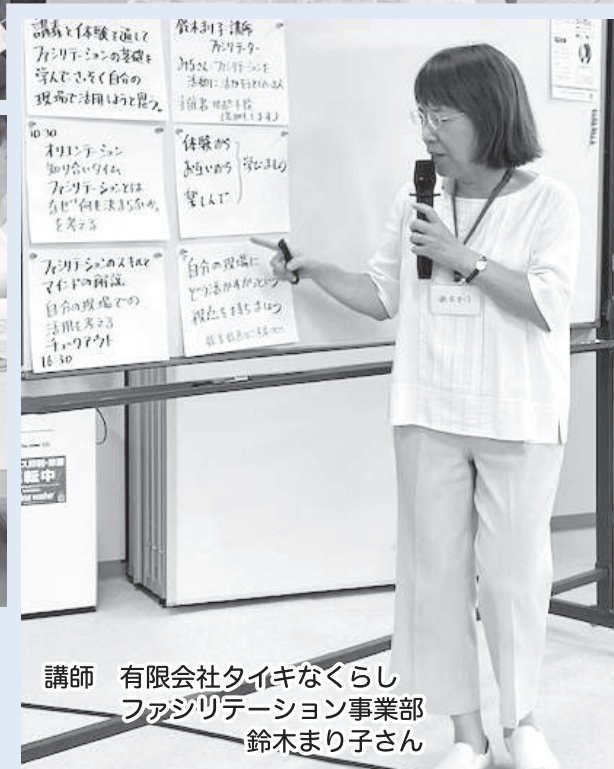
パートナー

市民活動はまちの未来を創造する

特集

大学生
活動と世代交代
静岡県立大学
地域コラボプロジェクト
(2,3ページ)

話し合いの主役は参加者 ファシリテーションの極意



8/16(土) ～何も決まらない会議にさようなら～ 活動が活性化する ファシリテーション講座開催

活動を進めていく上で常に求められるのが「話し合い」です。

円滑に話し合いを進行し、合意形成、…とはいかないこともあります。今回の講座には、ファシリテーションについて基礎から学んで日々の団体運営に役立てたいというみなさんが集まり、活気ある一日となりました。「話し合いがきれいにまとまることより、目標に向かう時間の共有や共通体験により連携していく関係が生まれる」という講師の締め括りの言葉が印象的でした。

講師 有限会社タイキなくらし
ファシリテーション事業部
鈴木まり子さん



様々な人たちとコラボして、まちを盛り上げる一員に 静岡県立大学地域コラボプロジェクト

地域コラボプロジェクト(以下地コラ)は、2011年に活動が始まりました。設立当初は、10人前後のスタートでした。14年目を迎えた今年は新1年生40名近くが入り、合計85名の学生が所属するサークルになり、大学のある清水区草薙地域でまちの人たちとつながりながら活動をしています。団体のメンバー、本杉さん、松岡さんから活動の魅力や仲間集めについてお話を伺いました。

— 地コラに入った理由を聞かせてください。

本杉 高校時代から、旅行が好きだったので、大学では観光系のことをやりたいと思っていました。観光サークルがないか調べた時に、地コラを見つけました。僕が住んでいるところは、住むための場所といった感じで、地域のイベントが少なく、人とのつながりの中で何かをするということに消極的な感じがします。でも、地コラでは地域の様々な人と一緒に活動できることに面白さを感じました。

松岡 私は近くに住んでいながら草薙について知らなかったんで、活動を通じて地域や人について知ることができていることに魅力を感じました。

— 草薙というまちの魅力は何だと思いますか？

本杉 他の地域団体のある程度年齢が高い人たちは、自分たちがやってきたことが変化することを怖がる場所があります。地域を盛り上げるきっかけになりやすいのは、「よそ者」、「若者」、「馬鹿者」と言われています。草薙はよそ者も若者も受け入れられるまちだと感じます。これは、前の代の人たちが、良い関係を築いてくれたおかげです。

松岡 地コラに入っただけで名前も知られていないのに、イベントの時は地コラの学生ということで多くの人に話しかけてもらいました。自然に入れる雰囲気を感じました。私は、静岡の人柄の良さが魅力だと思います。

— 草薙は学生も地域の一員になりやすい 土壌があるんですね。

本杉— 長く続けてきたことによる信頼は大きいと思います。僕達の代で、それを壊したくない想いはあります。昭和みたいですけど、挨拶を意識しています。地域の人に会ったら「お疲れ様です」「お世話になりました」と声をかけるだけでも、顔を覚えてもらえます。

— 新1年生が増えた理由は何だと思われますか？

本杉— SNSの広報を頑張りました。今までは、チラシを作って配るだけでした。今年は、Instagramに力を入れるため、SNS班を作って活動の宣伝をしました。

松岡— 今は、高校の授業でもまちづくりやSDGsについて学びます。そこで興味を持った学生が、地コラを選んだのかなと思います。

本杉— Instagramに、まちづくりの活動の様子の写真をあげていたのも良かった。

— 今後の予定は？

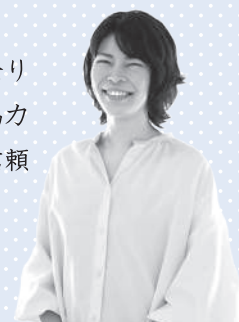
本杉— 12月の冬フェスが終わると、新学期まで予定がないので、その間に代替わりします。1年間の活動を通して、自分たちの想いと地域の想いを感じてもらった上で、任せられる人を選ぼうと思います。

地コラOGの西さんに聞きました！

当初は、学生と商店・住民との関係性が築けておらず、連携が難しかったです。地コラの想いを理解してくれた方がつないでくれたり、関わり方を教えてくれたおかげで活動ができるようになりました。

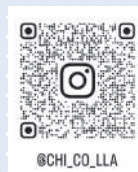
私たちが花壇の整備やお祭りのボランティア等で地域に協力することを通じて、段々と信頼関係を築いてきました。

2期生 西 美有紀 さん



地コラの活動

地コラは、地域貢献をしながら自分も成長させていけるサークルです。インカレサークルとしてお互いの価値を提供し合える関係をつくるため、現在は静岡県立大学と常葉大学の学生が活動しています。草薙地域で行われる「くさなぎクリーンフェス」、「夏フェス・冬フェス」といったイベントへの参加や、ボランティア活動を通して様々な人と関わっています。



新入生歓迎 草薙ツアー



自治会コラボ クリーンフェス



商店街コラボ 夏フェス

学生が草薙の飲食店を取材して動画にする「草薙図鑑」も作成中です。後に製本化し、図鑑を制作する予定です。出身地を超えて、学生目線で草薙の『知る人ぞ知るステキ』を全力で紹介しています。カードの二次元コードから、気軽にフォローしてください。

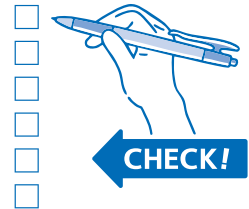
メンバー同



！ NPOワンポイント 上半期の会計帳簿の見直しを！

4月1日から事業年度が始まったNPOは9月末が年度の折り返しです。
この時期に「帳簿類の点検」をしておく、本決算の業務が楽になることはもちろん、予算と実績を比較して事業の見直しをすることができます。このタイミングで活動を見直し、対策を講じることもできます。
活動規模の大小にかかわらず、帳簿類の見直しをしながら半年間の活動を振り返ってみましょう。

- | | | |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| ● 現金出納帳 | 実際の現金残高と一致していますか？ | ☐ |
| ● 預金出納帳 | 預金通帳と一致していますか？ | ☐ |
| ● 未収金、未払金、前払金 | 決算後の仕訳が正しくなされていますか？ | ☐ |
| ● 減価償却 | 対象になる備品や車両などの購入はありませんか？ | ☐ |
| ● 借入金残高 | 銀行からの借入明細と一致していますか？ | ☐ |
| ● 預り金 | 源泉、社会保険料などその内容を把握していますか？ | ☐ |



センターからのお知らせ 始まります！ 清水市民活動センター19周年記念事業

市民活動FESTA2025 ～日常から探してみよう!! 市民活動の芽～

展示企画

期間：10月18日(土)～11月15日(土)

▶活動紹介ポスター展・コンテスト

市民活動団体が作成したポスターを展示。
活動への想い、みなさんへのメッセージが伝わってきます。
随時特設HP、Facebookでも紹介します。
コンテストは、来館またはFacebookの投票による大賞と、審査員特別賞の2種。

▶NPO深掘り周遊記（階段展示）

団体の活動現場に市民活動センタースタッフが訪問し、その体験やインタビューを通して団体の魅力を掘り下げます。

市民活動ブース@ジロチョウマーケット

期間：11月2日(日) 10:00～15:30 小雨実施

ジロチョウマーケット、市民活動センターの2会場で市民活動団体がブースを出し、活動を紹介します。

展示企画の作品、展示物、ジロチョウマーケット出展団体の詳細そのほか周年事業共催、協賛事業については、特設HPでご覧になれます。



しみず・コレなかに？ その69

照りつける日差しを避けて重い引き戸を開けて中に入れば、ひんやりとした空気が心地よく感じられます。

外気の影響を受けないのは、建築素材として使われている石のおかげでしょうか。

江戸時代から蔵と言えば木骨に土壁を厚く塗り、漆喰を重ねたものですが、こちらは伊豆半島で産出されたいわゆる「伊豆石」で作られた蔵です。

清水港に近い巴川河口付近は、江戸時代以降廻船問屋が集中して店を構え、伊豆石の蔵もこの地域に点在しています。

こちらの蔵は一説には明治9年(1876年)に建造されたと伝えられ、取引関係の文書ははじめ歴史的価値のあるものが残されていました。文書類はすでに郷土史資料として整理され、地域の博物館に寄贈されていますが、未整理の物もたくさん残っているとのこと。

残念ながら、この蔵は年内に解体することが決まっています。港を中心に栄えた往時を偲ぶ景色がまた一つ消えていくのは寂しいことですが、別の地で再生する可能性も残っています。

